



つくば緩和ケアグループ 専門的緩和ケア研修プログラム

つくばの緩和は強力な「二本立て」



茨城の

「先進医療」「研究・教育」の拠点として
医療の発展に貢献する

地域がん診療連携拠点病院（高度型）
がんゲノム医療拠点病院、陽子線治療施設 等
病床数：809床



緩和支援治療科：指導医4名
○ 緩和ケアチーム・外来
 コンサルテーション：858件/年
 緩和ケア外来新規：277件/年
 非がん 73件/年
○ 研究：科研費を医師7名中5名獲得



公益財団法人 筑波メディカルセンター

筑波メディカルセンター病院
Tsukuba Medical Center Hospital

茨城県南・県西地域の

「救急医療」と「がん医療」を担う

地域がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院 等
病床数：408床 訪問看護ステーション3か所



緩和医療科：指導医2名
○ 緩和ケア病棟
 病床数：20床＋一般病床3床
 平均在棟日数：24.5日 在宅復帰率：25.5%
 入院患者数：263名/年
○ 緩和ケアチーム
 コンサルテーション：301件/年
 非がん：40件/年

充実した環境で専門的な緩和ケアの研修ができます

研修プログラム：筑波大学附属病院 内科専門研修 緩和ケアコース

研修理念

重い病を持つ人とその家族の苦痛緩和、QOL向上を通して社会に貢献できる医師を育成する

研修目標

緩和医療専門医の臨床の主たるセッティングである、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム（コンサルテーション診療）、在宅緩和ケアにおいて、どの場所でも質の高い緩和ケアが提供できるようになる

研修概要

緩和ケアは複数の領域を横断するサブスペシャリティ領域です。あらゆる基本学会で専門医取得後にサブスペシャリティ領域として研修することが可能です。当院では、①初期研修終了後すぐに緩和ケアを専門にすることを旨として研修する場合、②基本学会専門医取得後に緩和ケアをサブスペシャリティとして研修したい場合、双方を想定した研修を提供しています。

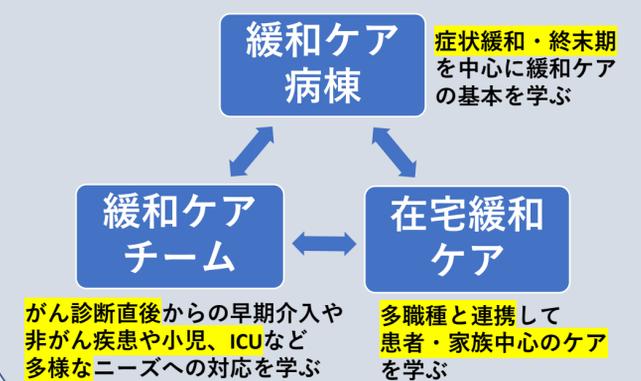
取得可能な資格

- ・ 内科領域で研修した場合
 ：日本内科学会内科専門医
- ・ 総合診療科を基本学会とした場合
 ：総合診療専門医、家庭医療専門医
- ・ 緩和医療学会専門医
 （レジデント修了後2年以内に取得）
希望により大学院で**博士号取得**も可能

研修プログラム例 内科を基本領域とした場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	院内：内科			院内：救急			院外：内科					
2年目	院外：内科						院外：総合診療科					
3年目	院内：緩和ケアチーム			院外：診療所			院外：内科					
4年目	院外：内科						院外：緩和ケア病棟					
5年目	院外：連携施設						緩和ケア病棟など					
6年目	緩和ケアチーム：筑波大学附属病院											

すべての環境で研修できます



見学・オンライン相談 随時受付中！

木澤 義之 教授
筑波大学医学医療系 緩和医療学
養成コース長
日本緩和医療学会 理事長



どこに行っても確実に役に立てる緩和医療専門医を育成します。
研修にあたっては個々のニーズを大切にしています。
研究に興味がある方は、大学院への進学も大歓迎です。
ぜひ一緒に学んでまいりましょう！！



＜連絡先＞
筑波大学 医学医療系
緩和医療学教室
kanwa@md.tsukuba.ac.jp



緩和ケアコース紹介HP

